

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 23 年 3 月 3 日 (2011.3.3)

【公開番号】特開 2009-188598 (P2009-188598A)
【公開日】平成 21 年 8 月 20 日 (2009.8.20)
【年通号数】公開・登録公報 2009-033
【出願番号】特願 2008-24937 (P2008-24937)
【国際特許分類】

H 0 3 L 7/26 (2006.01)

H 0 1 S 5/022 (2006.01)

H 0 1 L 31/02 (2006.01)

【F I】

H 0 3 L 7/26

H 0 1 S 5/022

H 0 1 L 31/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 1 月 19 日 (2011.1.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

共鳴光による量子干渉効果を利用した原子発振器であって、
前記共鳴光を出射する光源と、
前記共鳴光が入射されガス状のアルカリ金属原子が封入されたガスセルと、
該ガスセルを通過した前記共鳴光を検出する光検出手段と、を備え、
前記光源が端面発光型のレーザダイオードであることを特徴とする原子発振器。

【請求項 2】

前記光源と前記ガスセルと前記光検出手段とを搭載する基板と、
前記共鳴光の出射方向が前記基板の面方向に沿った構成と、
前記光源の出射面と前記光検出手段の受光面とが前記ガスセルを介して対向する構成と
を備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の原子発振器。

【請求項 3】

前記光検出手段が導波路型受光素子であることを特徴とする請求項 2 に記載の原子発振器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】原子発振器